

終身雇用制度は崩壊し、働き方が大きく変化している今日。一人ひとりで見ると、よくある話かもしれませんが。でも複数回並べてみると、そのはたらく姿から現代の若者のすがたがあまり出されるのではないか。「はたらく」から若者の今を見つめます。

中島 彪さん 20歳  
外構土木事務所 正社員



今の仕事について教えてください。

外構土木の現場で働いています。外構土木といっても、イメージされるような一般的な土木現場や道路工事とかではなく、僕がやっているのは住宅周りの仕事です。土を実際に触って、決まっている高さに土を敷いて、碎石を混ぜて、コンクリートをつくっています。それで、決まっている範囲が同じ高さになるように糸を張って見ていきます。そんな感じで、結構なんだかんた何でも屋じゃないかな。ブロック積みや、解体もやります。所属の社長が優しいから、仕事を受けちゃうんかな。(笑)

楽しいこと、反対に大変なことはありますか。

仕事自体というより人がおもしろいと感じています。同僚や社長はおもしろい人。プライベートではいけれど、仕事になったら人間性が見えてきますよね。

仕事自体は楽しいと思うけれど、

スキルが育たないことと上司が厳しいのが大変かな。

仕事をあまりやらせてくれない。ブロック積みであったとしても、自分で積んでみたいっていうのはあるけど、いざやるとなるとわからないし、教えてもらわないといけない。でも上司は「見て覚えろ」ってタイプですね。やるなら一緒にやって見せてほしい。人を育てようと思うなら一緒にやらなからへんと思うから。

一番大変だったのは、夜勤ですね。仕事の内容全てがしんどいというわけではなく、夜勤だけじゃなく厚も仕事をやっていたので本当に疲れた。精神的に疲れました。がんばろうと思うときは仕事前にカフェインをとりまくる。よく怪我しなかつたと思いますね。(笑)

生コン(コンクリート)をならす時に「コンがうまい」って褒められたの覚えています。やっぱり褒められると嬉しいですね。

将来やっていきたい仕事について教えてください。

居酒屋を開きたいです。僕が和風好きだから、和風の料理が出せる居酒屋がいいですね。店の大きさとかはまだ考えてないけど、二千万円くらいでできるくらい。今、貯金しています。

小学校の時の家庭科の調理実習で「おもしろい」と思ったのがきっかけかな。運動会や遠足では自分でたまご焼きとミートボールと冷凍のから揚げのお弁当を作っていました。同居していた親戚が亡くなって、小学4年生くらいから料理を作ることはいくらなりました。うぐんの出汁とかも自分でひきたくてやりました。

もともと自分に夢はなかったけど、居酒屋って雰囲気いいし。みんながお酒を飲んで楽しそうに見える、それを自分でもつくりたいなと思う……。子どもやおじいさんおばあさんもこのお店に行きたい！って思わせられるような店にしたいです。居酒屋やけど子どもでも行きたいと思えるような店にできたらいいな。

あとは、今所属している土木の

現場の所長に持ち掛けられている仕事を考えているんですが、自分の中では副業だと思っっています。2年くらいは現場を経験して、その後は後輩育成をして自分は運営に回り、後輩に現場を任せたい。

働かなくてもお金を稼げるようにしたい。趣味でお金を稼ぎたいと思います。(笑)

あなたにとって「はたらく」とは？

正直、嫌々ではあるけど将来のためですかね。将来の家庭のため、これから持つかもれない家があったら、そのためもあるし。どっちかといったら働きたくない。でもお金持ちになりたい。(笑)

まだなんにも行動できてないのに未来の話はしたくないんです。「いつやりたい」というのはあるけど、自分がまだ取り組んでないのがあるから。でも将来の理想はあります。それに向けてがんばりたいです。